
空想と現実の世界

水原秋護

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

空想と現実の世界

【Nコード】

N6575B

【作者名】

水原秋護

【あらすじ】

ごく普通のゲーム好きな少年『秋野直也』がお送りするファンタジー小説。

ブローグ

俺は…

負けない…!!

『GAME OVER』

画面上に文字が浮かんだ。

「うわぁ!?!まじかよ!?!」

俺は秋野直也。中学三年生。今年受験生なんだが、勉強はせずにゲームばかりやってる。

「あれ卑怯だろ…」

全くバカな発想なんだが俺はゲームの世界に行きたいって思っている。まあ要するに俺はまだまだ子供なんだ。

「…今何時だ??」

短い針は2を指していた。

「まずっ!?!寝なきゃ!?!」

これから起きる出来事は少年に勇気と強さを試される事になる

第一話

「お…起きろ直兄!!」

「…ってえ…だからいつも言ってるが普通に起こせよ!」

俺に飛び膝蹴りをかましたコイツは、俺の妹の秋野空。

空と書いてるが、これを『くう』と読む。全く親もめんどくさい事したな。

「だって普通に起こしたって起きないじゃん!」

「知らねーよ!!…ってか普通に起こされた試しが一度もねー!!」

空はあれ??そうだっけ??…って顔した。

「もういい!!…早よ出るよ」

コイツになに言っても無駄なようだ。

「怒った…??」

「そりゃあな。あんな事されりゃあ…。ってお前…」

そう空は俯いたままにいた。

ヤバイ…!?

「えっと…だな。空が普通に起こしてくればいいんだけど…」

慌て俺はこの状況をどうにかしようとして頑張っていたが、

「ごめん…」

空は俯いたままそう口にした。

「えっと…分かってくれればいいよ。こっちもキツク言い過ぎたよ。悪かった…」

頭を無造作に掻きながら言った。

たつく…幾ら妹でも女の涙には弱いな…。

「まあとりあえず早く出てくれ。着替えられん」

「分かった」

空はもう機嫌が治ったらしく足早に部屋を出た。

「…うわぁ！？早く行かないと遅刻だ！？」

俺は素早く制服に着替え、カバンを持ち朝飯は時間がないので食パンを口に挟みながら玄関に向かった。

「待つてよー！！直兄！！」

リビングから空の声が聞こえた。

「早く来い！！遅刻すんぞ！！」

は…いと声が聞こえ玄関に来た。そして俺らは声を合わせて、
『行つてきまーす！』
と言い学校に向かった。

ふう〜ギリギリセーフ。何とか間に合ったな。アイツも間に合ったかな？？

「いや〜また仲良く学校に登校ですか お熱いですね」

ニヤニヤしながら近づいて来たのは、

高橋大紀。

コイツは俺の親友である。

まあコイツの頭の出来は悪いんだが、状況判断？？みたいな事は凄
い。これには何回も助けられている。例えば先生から逃げるとか、
先生から逃げるとか…。

「うるさいな。何回も言ってるがあれは妹だぞ。いい加減そのネタ
飽きた」

俺は机にうなだれながら言った。

「そりや分かってるけどね あそこまで仲が良いとね〜」

大紀は俺の席の隣の席に座り、ニヤニヤしながら言った。

「なに？？なんか今日はやたらと突っかかって来るな」

まあ何時もの事何だけど。

「いやそろそろ白黒ハッキリしてもらいたいし…」

キンコーンカーンコーン…

大紀が言い終わる前に朝のSHが始まった。

「ほら、席に戻んなさい」

チャイムが鳴った30秒後ぐらいに先生が来た。

朝の挨拶をし、先生が点呼とり始めた。

しかし俺は、眠かったので点呼を受ける前に夢の中へ引きずりこまれた。

『エラバレシ、モノヨ…。ワガ、コエガキコエルカ』

うん??

『ワガ、クニ、ヲ、スクツテクレ』

なに??なに??

「あ…秋野…秋野直也!!」

いきなり大きな声が聞こえてきた。

先生は教卓から大きな声を出し、俺に指を指して言った。

「…あん…ああ、はい…」

俺は力無く返事をした。

うゝん…。なんだったんだ。さっきのやつ。夢とはいえない。俺は

そこまで爆睡出来る時間がない。

まあ…いつか。もう一眠りしよ…。

しかし、もちろんの事、俺は一限の開始の挨拶の時に起こされた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6575b/>

空想と現実の世界

2010年10月17日12時59分発行